

令和5年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	田んぼでの農作業ボランティア
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 北部地域連携課 西区事務所
3	協力団体	さいたま市西区ホテルと田んぼの会
4	活動年月日	令和5年9月3日、9月17日
5	活動場所	西区内の田んぼ
6	内容	稲刈、脱穀、もみすり

7 活動の様子

さいたま市西区は緑地や田園地帯が多く、のどかな風景はとても魅力的です。ボランティア団体「さいたま市西区ホテルと田んぼの会」の皆様にも今年もご協力いただき、田んぼでの農作業体験を行いました。



～参加者より～

- お店に行けばすぐに手に入る食材にも、その背景には作ってくださる方々の苦勞があることを忘れないようにしたいです。
- お茶碗一杯のお米を収穫するのは大変だということが分かりました。

～参加者より～

- 30℃を超える暑さの中での農作業の大変さを実際に体験して知ることができました。
- 普段あまり経験することのできない農作業を体験することができて楽しかったです。



～担当者より～

30℃を超える暑さの中、さいたま市西区ホテルと田んぼの会体験メニューにご参加いただきありがとうございました。

お米を収穫するために多くの方が協力して農作業に励んでいます。

併せて、さいたま市西区ホテルと田んぼの会は多世代交流が特徴のボランティア団体になります。農作業や地域の方々との交流を通じて、新しい学びや発見を得る機会となっていれば幸いです。

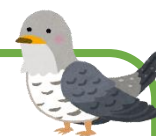
令和5年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	三貫清水一帯の自然保護と創生の活動
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 北部地域連携課 北区事務所
3	協力団体	三貫清水の会
4	活動年月日	令和5年8月6日
5	活動場所	三貫清水緑地一帯
6	内容	増えすぎた木の間引き・シュロ、アオキの伐採

7 活動の様子

【三貫清水の会】

三貫清水緑地一帯の自然環境保全ボランティアの団体です。
 コロナの影響があり、3年ぶりに夏のボランティアの受入をしていただきました！
 普段は毎月第2日曜の朝10時から、活動をされています。
 今回の夏ボラでは、会員の方々にのこぎりや枝切りはさみの使い方を教えていただきながら、増えすぎた木や植物の間引き作業を行いました。



参加者の声①

自分が小さい頃から遊んでいた森の手入れがとても大変だということに気づけました。
 人が植えて育てた木は、人がしっかりと管理しないといけないと考えました。

参加者の声②

のこぎりは押すときより引くときの方が切りやすいことがわかった。
 木を間引くことで、他の大きい木などに日が当たりやすく、風通しが良くなることが知れた。



担当者より

暑い中、皆さん汗を流しながら真剣に活動に取り組んでくださいました。
 子どもたちだけでなく、保護者の方も参加していただき、多世代の交流の場にもなったと思います。
 今回のボランティア体験が、皆さんのボランティアの第一歩になれば幸いです。



令和5年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	デイサービスセンター はるばてお
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 北部地域連携課 大宮区事務所
3	協力団体	社会福祉法人 はるばてお（デイサービス）
4	活動年月日	令和5年8月7日～令和5年8月9日
5	活動場所	デイサービスセンター はるばてお
6	内容	デイサービスでの夏祭りのお手伝い

7 活動の様子

コロナ禍の影響で、4年ぶりにボランティア参加の対面での開催となりました。夏祭りの会場を作り、楽しいお祭りの音楽が流れる中、射的や魚釣りなどの出店が出て、高齢者の方とボランティアの学生の交流が図れるイベントとなりました。

<魚釣り>



コミュニケーションの大切さを学びました。

<射的>



この体験をとおして高齢者との関わり方を学びました。一緒に夏祭りを楽しむことで高齢者の方たちが喜んでくれることが嬉しかったです。



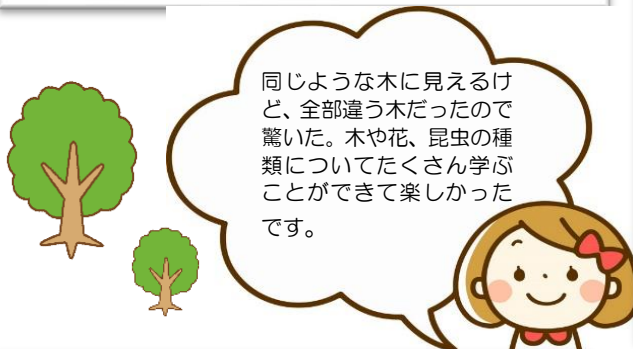
4年ぶり対面での開催となり、高齢者の方もボランティアの学生たちも、参加者全員が笑顔で、楽しい時間を過ごしました。途中、高齢者の一人から「なんでもっと早く来てくれなかったの！」と涙ぐむシーンがあり、人と人が直接会って、直接話して、直接触れ合うことの大切さをあらためて感じました。

令和5年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	緑地の保全活動体験
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 北部地域連携課 見沼区事務所
3	協力団体	さいたま市みどり愛護会 春里支部
4	活動年月日	令和5年8月7日
5	活動場所	春里特別保全緑地
6	内容	自然を守る活動

7 活動の様子

『春里自然の森』の緑豊かな自然を維持するため、さいたま市みどり愛護会では、定期的に落ち枝や落ち葉の片付け、草むしり活動をしております。約40種類以上の野草や昆虫が生息しており、大自然の恵みを子どもたちへ残すために定期的に活動をしています。



🌻🌻🌻🌻 ~協力団体代表者からのコメント~ 🌻🌻🌻🌻

見沼区内には、特別保存緑地に指定されている小さな森が四ヶ所あります。ボランティアで参加していただく皆さんには、限られた時間内に森や緑地がいかに私たちの生活に必要なものかを説明する時間はありません。

今回の体験を機会に皆さんのような若い時から、自然と共存ができる人間の生活に関心を持たれ、自分にとって何が出来るかを考えてほしいと思います。



令和5年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	絵手紙で高齢者と交流
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 南部地域連携課 中央区事務所
3	協力団体	ボランティア絵手紙さなえの会
4	活動年月日	令和5年8月1日
5	活動場所	中央区役所会議室
6	内容	与野本町デイサービスセンターの利用者のみなさんに宛てて絵手紙を描く

7 活動の様子



【参加者の感想】

- ・描いた作品を喜んで見ていただけると嬉しいです。また参加したいです。
- ・絵手紙を見てくれた人が元気になるなら、またやりたいと思いました。みんなを元気にできる行動が自分にもできるんだと思いました。
- ・絵手紙を通していろいろな人と交流してみたいです。
- ・手作りすることの大変さはあるけど、大切にしていることや思いやりの気持ちを伝えていきたいと思います。
- ・新しいことにチャレンジする行動につなげていきたいと思いました。



与野本町デイサービスセンターの利用者のみなさんに宛てて絵手紙を描くという、毎年好評の夏ボラ中央区メニューには、今年も定員を超える申し込みがありました。

当日は小学1年生から高校2年生の15名が参加し、見てくれる方の喜ぶ顔を想像しながら、一枚一枚に心を込めて、楽しみながら絵手紙を描いていました。

出来上がった絵手紙をパネルに貼ってデイサービスセンターにお持ちしたところ、みなさんに大変喜んでいただき、参加者の絵手紙にのせた気持ちが届いたことを実感しました。

令和5年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	自転車の修理をやってみよう！
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 南部地域連携課 桜区事務所
3	協力団体	Re：さいくりんぐ
4	活動年月日	令和5年8月7日
5	活動場所	埼玉大学
6	内容	Re：さいくりんぐの活動を知り、自転車の修理を試みる。

7 活動の様子

埼玉大学ボランティアサークル「Re：さいくりんぐ」

埼玉大学構内の放置自転車を修理し、日本国内外で自転車を必要とする方に寄付するなど、多岐にわたり活動しているサークルです。今回は皆さんの協力のもと、小・中・高生8名を対象に自転車の修理体験ボランティアを行いました！



修理体験を始める前に、Re：さいくりんぐの活動内容について説明してもらいました。そして、修理する時に使う大事な言葉、**“フタベルサハラ”**をみんなで覚えめました！
フ(ブレーキ) **タ**(タイヤ) **ベル**(ベル) **サ**(サドル) **ハ**(ハンドル・反射材) **ラ**(ライト)

～参加者より～



壊れた自転車は自分で修理できないと思っていたけれど、活動を通して自分で直せることがわかり、家族や友達の自転車も直して助けてあげたいと思いました！



～担当者より～

身近な「自転車」を使ったボランティア活動ということもあり、自分で修理した体験が自信に繋がり、自分ができることを活かして誰かを助けたい気持ちが芽生えた参加者が沢山いました。これからもボランティア活動は、「自分にできることから始めてみる」という意識を広げていけたら良いなと感じます。

令和5年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	社会福祉協議会 浦和区事務所
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 南部地域連携課 浦和区事務所
3	協力団体	一般社団法人インクルラボ、さいたま市障害者協議会
4	活動年月日	令和5年8月1日
5	活動場所	社会福祉法人まあれ愛恵会 特別養護老人ホームたいようの杜
6	内容	視覚障害、下肢障害、高齢者について学び、体験する

7 活動の様子



浦和区にある「特別養護老人ホームたいようの杜」地域交流スペースを会場として、障害のある当事者の方のお話を聞いて介助体験をしたり、施設職員から高齢の方の暮らしや職員の仕事についてお話しいただきました。



この施設を建てる時、地域の方と学び合いやサロンなどができたらと考えて作られたスペースとのこと。今回初めて活用させていただきました。

午前、午後、同じプログラムを行いました。体験を終えるとみんなやりきった表情です。みんなで記念撮影！



令和5年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	武蔵浦和コミュニティセンター シネマナイト
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 南部地域連携課 南区事務所
3	協力団体	武蔵浦和コミュニティセンター
4	活動年月日	令和5年9月5日
5	活動場所	武蔵浦和コミュニティセンター
6	内容	イベント（シネマナイト）運営の補助

7 活動の様子

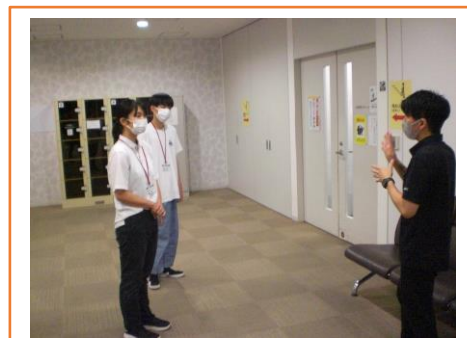
武蔵浦和コミュニティセンターにて開催されるシネマナイト（夜間に行う映画の上映会）において、受付や会場での誘導、片付けなどを行いました。

『学生のうちに社会と多く接点持ちたくて参加した』
 『普段できないボランティア活動ができてよかった』
 『時間帯が夜だったことで参加しやすかった』等様々な意見、感想をいただきました。



『参加された方とコミュニケーションをとることでやりがいや楽しさを感じることができた』
 『今後も機会があれば参加してみたい』といった感想でこれからはつながる体験だったようです。

施設の役割や取り組みについて説明を受けていただきました。地域の方々が集う場所について学ぶことができていたようです。



令和5年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	自然環境について学ぼう
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 南部地域連携課 緑区事務所
3	協力団体	NPO 法人エコ.エコ
4	活動年月日	令和5年7月28日
5	活動場所	浦和ふれあい館
6	内容	バイオミミクリーカードの作成を通して自然環境について学ぶ

7 活動の様子

参加者からの感想

- ・自然界の仕組みから学んだことを技術開発に活かしていることがわかった。現在の生活を豊かにしてくれたのは自然界からの発見だったことに気づいた。
- ・自然界のものと僕たちの生活は関係があり、繋がっていると思いました。全ての命で、地球は成り立っていて、人間だけのものではない。それぞれに良い所があると気付きました。

協力団体「NPO 法人エコ.エコ」様からの感想

バイオミミクリーの神経衰弱ゲーム自然から受け取った知恵をわかりやすいカードにすることで、遊びながら自然への親しみを感じ、自然の奥深さに気づくことが、これから生きる子どもたちや若い方が未来を考える力になってくれたら嬉しいです。

担当者の感想

「バイオミミクリー」という言葉は聞き馴染みが無い言葉だったとは思いますが、私たちの生活と自然がどのように結びついているのかを学べた有意義な時間だったと思います。自然の為に、未来の為に自分に何ができるか考えるきっかけになってくれれば幸いです。

↑作成したバイオミミクリーカード

令和5年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	東岩槻地区社会福祉協議会
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 北部地域連携課 岩槻区事務所
3	協力団体	東岩槻地区社会福祉協議会
4	活動年月日	令和5年7月24日～令和5年7月28日
5	活動場所	東岩槻小学校
6	内容	小学生の子ども達の夏休みの宿題サポート

7 活動の様子

東岩槻地区社会福祉協議会では、東岩槻小学校の児童と放課後児童クラブに通う児童を対象に、夏休みのドリル・習字・工作・1学期の復習などを行う『夏休み宿題教室』を開催しました。子どもたちの宿題をサポートする役として、多くの夏ボラ参加者が集まってくださいました。

ボランティアのお兄さん・お姉さんがマンツーマンで宿題をみてくれます。



お楽しみのじゃんけんタイム!

～参加者の声～

- ・ 周りをよく見て自分から積極的に動いたり、声かけなどをすることが大切だと思いました。
- ・ 自分だけの目線で物事を考えずに、他の人の目線にもなって色々なことを考え、周りの人達と関わっていきたいです。
- ・ 子供たちと笑顔で目線を合わせると、笑顔で話してくれることが体験してみて初めて分かりました。

～担当者より～

『夏休み宿題教室』は、地区社会福祉協議会を中心に、ボランティア・地域住民など多くの皆様のご協力のもと開催されました。

夏ボラ参加者の多くは、中学生・高校生です。普段の学校生活では、なかなか感じる事ができない『ボランティア活動の楽しさ』を体験していただくことができたと思います。また、子ども達の宿題を手伝う中で、『地域のつながり』『多年代の人々と関わる楽しさ』も感じていただけたかと思います。

参加者の皆様にとって、夏ボラが新しい発見の機会となっていれば幸いです。

令和5年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	聞こえない方との交流・手話を学ぶ
2	実施社会福祉協議会	さいたま市社会福祉協議会 地域福祉課
3	協力団体	さいたま市聴覚障害者協会 さいたま市手話通訳問題研究会
4	活動年月日	令和5年8月22日
5	活動場所	浦和ふれあい館
6	内容	聞こえない人の生活を聞く・手話を学ぶ・伝言ゲーム

7 活動の様子

【当日の様子と参加者の感想】



玄関チャイムの音の代わりに光で知らせるようになっていたり目覚まし時計は振動になっているなど、聞こえない人の生活を初めて知りました。

初めて、聞こえない人に会ったり、手話を学びました。緊張したし、手話を覚えるのは難しかったけど、これからも手話を学んで、コミュニケーションがとれると良いなと思いました。

教えてもらった手話やジェスチャーを使っている伝言ゲームでは、伝えることの楽しさや難しさを体験しました。
(皆さん、とっても積極的♪)



